



コラム



NO・5

👑 今月の見どころ!

NO.5の記事は中札内高等養護学校幕別分校がコラムの担当になります。今回は幕別分校での授業の取組について紹介したいと思います。

ICT化が進んでいる変化の激しい社会を生き抜いていくには、ICTを活用し情報の収集・整理を行い、判断、解決する力が必要になります。ICT教育では、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくための必要な資質・能力である情報活用能力を育成することを目的としています。

幕別分校では多くの授業でICTを活用しています。ねらいは様々ですが、文字を書くことが苦手の生徒は、iPadを使うことで文字を手早く打ちまとめることができたり、iPadを使い翌日の連絡事項をメモする生徒もいます。他には、現場実習について企業を調べたり、外国語ではALTの先生に英語で質問をする練習をしたり、ふだんの授業で多く活用しています。また、生徒が楽しく、分かりやすくをモットーに教師もICTを取り入れた授業を積極的に行っています。ICTの活用は目的・目標達成のための、あくまで手段です!

今回のコラムでは、実際に授業で使っているアプリを紹介します。



「kahoot」を使ってクイズを作ってみよう!

海外生まれのクイズアプリです。少くせはありますが、比較的簡単にクイズ大会ができます。問題ごとに点数が加算されるシステム。サービス問題ではポイントが2倍になるなど、生徒たちの競争意識によっては盛り上がります!



「ふりがなPDF」で自動で文書に振り仮名を振ります。

PDFデータであれば漢字に振り仮名を自動で付けてくれるアプリ。学年レベルを設定することによって、自動で学齢に応じた振り仮名を付けてくれます。



高機能なお絵かきアプリ

アイビスペイントには、パソコンの高価なお絵かきソフト並みの機能がぎっしりと詰め込まれているため、思い描くイメージを完璧に表現することができます。授業では本の紹介でポップを作ったりポスターを作成したりしました。